

## 「食品テロ」について思う！

待望のソチ・オリンピックがロシアで開催されています。日本人は「頑張れ！」と応援しますが、アメリカではその言葉は「Do your best!」ではなく「Smile! (スマイル)」だそうです。期待されていた日本人選手が、思うような成績を上げられない一方、注目もされていなかった外国人選手が表彰台に上ることがよくありますが、「言葉のプレッシャーの違い」ではないかとオリンピックが来る度に思います。今回、日本は何個のメダルを取れるのか興味津々です。

さて、ソチ・オリンピックの心配事は、やはり「テロ」ですね。民族間で争い事が起こっていますが、根底にあるのは宗教の違い、つまりは生活習慣や物の考え方が全く違うと言う事ですね。それを無視して力で押しつけようとするれば、作用反作用の原理で増々抵抗が強くなることを知らないのですかね？

転じて「沖縄の辺野古問題」も中央政府の押し付けで強引に着工すれば、命を張ってでも抵抗する県民が少なくないと思います。時間をかけて地元住民の意見を良く聞き、お互いにウィンウィン (Win,win) の関係にならないと問題は解決しないと思います。

またテロと言え、**「食品テロ」**もありましたね。無差別的な農薬混入事件です。一歩間違えれば死に至ることもあります。記憶に新しいのは、2008年には中国からの冷凍食品（餃子）事件がありましたが、残念なことに今回は国内からでした。マルハの

子会社アクリフーズの群馬工場で製造された冷凍食品から殺虫剤のマラチオンが検出されました。厚労省は、中毒症状を起こした人は 2,183 人に上ると発表しています。幸いにも死者はいない模様ですが・・・。

「食品テロ」の背景も良く考えなくては いけません。つまり、従業員が会社に対して何らかの不満があったと言う事です。工場に働いている人は、ほとんど非正規雇用で安い賃金で長時間労働を強いられている可能性があると思われます。消費者に対する食の安全性を考える余裕がない人たちが生まれてきている様な気がします。

今後、食品を扱う企業が、唯々監視カメラを増やしたとしても、そこに働く従業員に何らかの不満が増幅するようであれば、同様な事件が再び起こることが避けられないと思います。

少なくとも一人ひとりが自分の仕事に誇りを持って働ける環境にしたいものですね。クリニックの運営も同様で、患者さんに対して「あんまん精神」(安心・満足)で頑張ります。

(たまなは)

